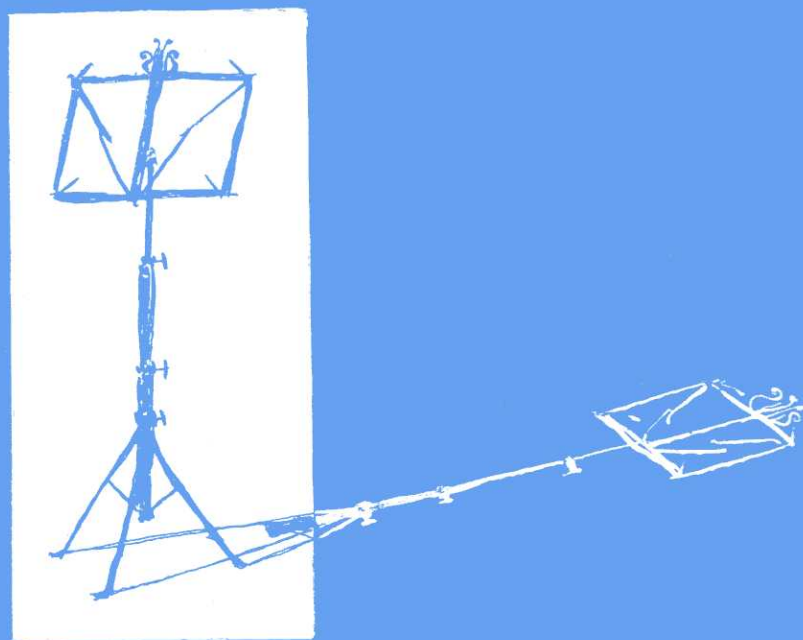


*With
you*



*MEIJI UNIV.
HARMONICA SOCIETY.*

第105回定期演奏会

11月16日(金) 読売ホール

部長 北島 忠男



本年7月15日に、前ハーモニカ・ソサエティー部長 明治大学名誉教授 林久吉先生が亡くなりました。89才でした。先生は、太田黒、佐伯両教授のあとをつがれて、昭和8年から40年まで、33年間に亘って部長として ソサエティーの育成に努力されました。この間、第2次大戦によるソサエティー活動中断の時期があり、その復活には先生も大変にご苦労されたと伺っております。先生は商業学の泰斗として、学術・教育のすべての面に亘って明治大学に大きく貢献されました。先生のご逝去をお悼み申し上げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

林先生に次いでソサエティー4代目の部長をお引受けしてから19年経ちました。その間も、部員は次ぎ次ぎと卒業し、また、音楽も大きく変わってきました。しかし、ソサエティーは厳然として存在し続けております。刻の流れに押し流されることなく、ソサエティーが永遠に演奏活動を持ち続けられますよう、ご来場の皆様の厚いご支援を心からお願い申し上げます。

OB会会長 布施 荘兵衛



明治大学ハーモニカソサエティーは大正8年に結成され第1回目の演奏が挙行され其名60有余年の星霜を経て本日第105回目の演奏会を開催する事になりました。

其間幾多の名手が輩出して日本ハーモニカ界を語るには明大ハーモニカソサエティーを除外して語れない時代もありました。斯る事代でありましたから常に斯界をリードしなければならぬと部員一同大いに張切って立派な実績を挙げて来た訳であります。

尚当部に対してOBの一人として曲目の選択に関して一言申したい事は、「クラシック」「セミクラシック」、「タンゴ」、「シャンソン」等々の曲を選び少しでも幅の広い演奏会を希望すると同時に往年実行して来た声楽隊を招聘して錦上華を添えてみたらと思ふ次第であります。

本日は御多忙中御来場下さいまして真に有難う存じます。今後も益々当部に対して御支援と御激励を賜度伏て御願申し上げます。

明治大学グリークラブ

木枯しが木々の合間を吹きぬけ、冬の訪れを告げる今日この頃、貴明治大学ハーモニカソサエティーが第105回定期演奏会を盛大に開催されますことを、グリークラブ部員一同心よりお慶び申し上げます。

貴クラブとは、明治大学音楽団体連合会を通してお付き合い頂いているわけですが、同じ明治大学に集い音楽を愛するもの同志として、大変心強く、また、大いなる励みとなる所です。今後もよきライバルとしてお互いに刻苦研鑽し、競合していきたいと思ひます。この演奏会を開催されるに当り、一年間たゆまぬ努力を重ねてこられたことと思ひます。今宵はその成果を十分に発揮され、皆様方のすばらしい演奏の一つ一つが会場のすみずみまで響きわたり、私たちの心に深く刻みこまれることと思ひます。

最後になりましたが、今宵の演奏会の御盛會と、今後のより一層の御活躍・御発展を心よりお祈り申し上げます。

幹事長 渡部 安男



本日は、第105回定期演奏会の日を迎え、御来場下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。私達明治大学ハーモニカソサエティーは創部以来今年で66年という長い伝統の中で部員数60余名で一生懸命の活動しております。また幹部も4年生から3年生へと代わり、私達3年生も、先輩方に負けぬよう日々努力しております。

今回の演奏会のテーマは“WITH YOU”です。全くありふれたテーマではございますが、私達としては、原点に戻って、私達が演奏している時、観客の皆様と常に一体になりたいという意を含め、また再びめぐり逢える時までという意味でタイトルにしました。

今夜、部員一人一人が心をこめて皆様にお聞かせする一曲一曲。未熟な点がございましたが、そこは自分たちの持ち味を100%出し切って頑張る所存でございます。

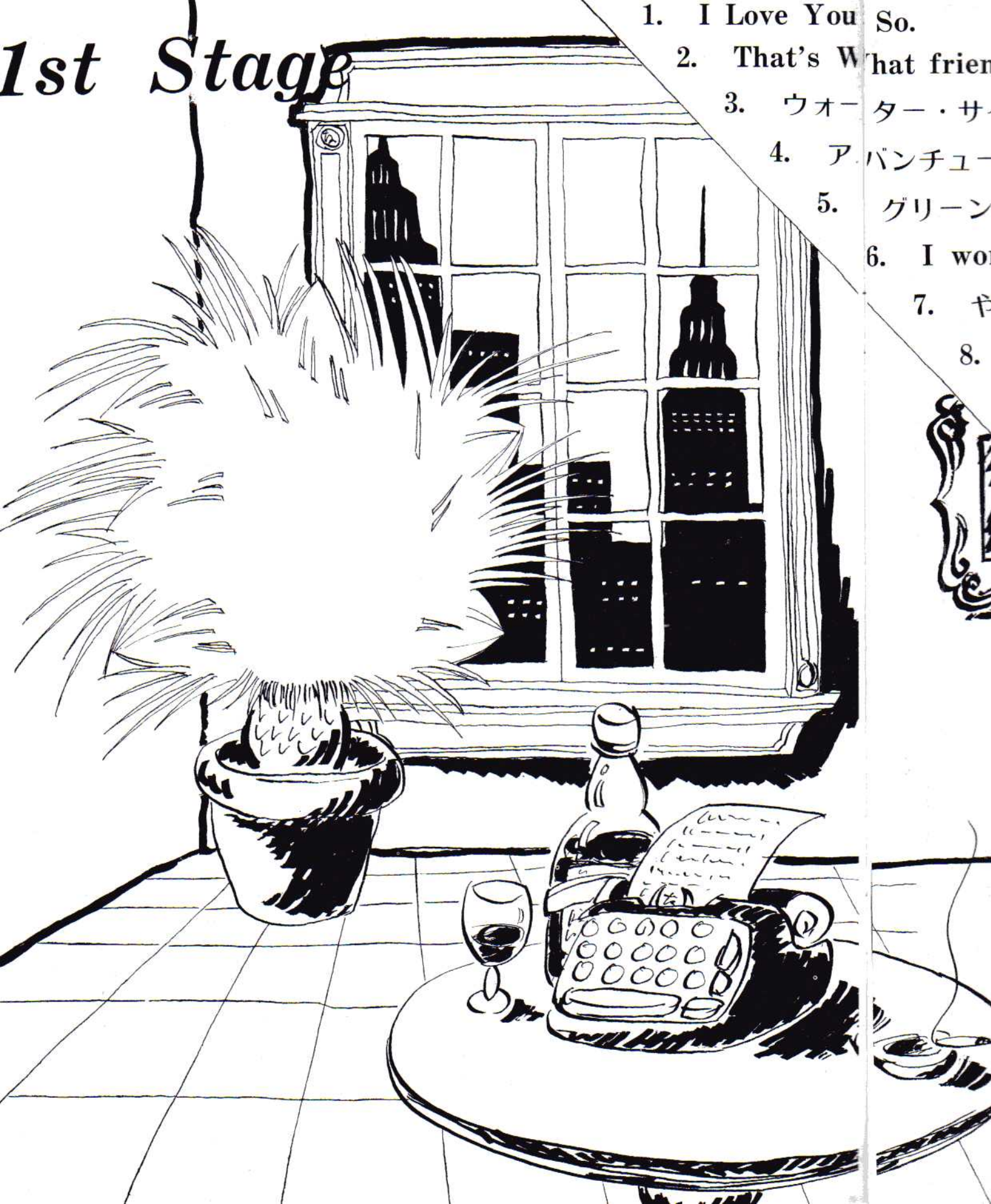
最後になりましたが、この演奏会の開催にあたり御支援、御指導を賜りました諸先輩、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

With You.

どこからともなくぼくのもとに現れた君は
ぼくの毎日の苦しみ，遠くにし
そのかわりに，生きる喜びをくれた人
あなたはぼくのもと，本当に突然，現れたね
あなたとのめぐり逢い，ぼくはいま…。
苦しい日々が何日も続いていた時
平凡な日々がぼくをさらっていた時
ぼくは，突然，明るい光に包まれた
その光がすべてを忘れさせてくれた
あなたとのめぐり逢い
ぼくはいま WITH YOU。



1st Stage



1. I Love You So.
2. That's What friend
3. ウォーター・サー
4. アバンチュール
5. グリーン
6. I wo
7. や
- 8.



Love You So.

That's What friends Are for.

3. ウォーター・サイド

4. アバンチュール

5. グリーン スリーブス

6. I won't last a day without You.

7. やさしさに包まれたなら

8. This Night.

2nd Stage

1. マック・ザ・ナイフ

2. ハンガリー舞曲

カルテット

コード：渡部安男 バス：木下 誠

クロマチック：後藤賢一 アルト：平井 浩

3. 卒業生による演奏

果たして、どんな曲が飛び出しますか？

乞う御期待!!

ストーリー

マンハッタンにあるアパートに住むポール。彼は、名もない雑誌社に入社して、うだつのあがらない日々を送っている。ある晩、いつものように疲れきって帰ってくると、昔の彼女、ポーラが戸扉の前に……。

彼らは同じ大学で青春を過ごし、常に求め合っていた。しかし、運命のいたずらは避けることが出来ず別れてはや数年。

ポールは、彼女と再会し、会話を楽しむうちに決心する。『僕にはポーラしかいない。ポーラこそが、僕に希望を与えてくれる』と。そして二人は、昔、行きつけたBAR "FRIDAY NIGHT" で……。

- 1) *Take Wing*
- 2) *Don't Stop Me Now*
- 3) 幻想のロマン
- 4) ワッキーダスト

○Take Wing

3rd Stageのオープニングは、新鋭フュージョンバンド、カンガルーのファーストアルバムからノリのきいた曲をお贈りします。ライブ・ハウスなんかでは、ラストに使っていますが、ハモソではトップで…。さあ！のるぜ!!

○Don't Stop Me Now

え～、うそお～、ほんとお～？ハーモニカでハードロックやるのお～。スゴ～イ!!しかもクイーンの曲。早く聞きたあ～い。

—横浜の某少女Mのインタビュー—より。お答えします。ハーモニカでも、ハードロックはできるのです。

○ワッキー・ダスト

さて、そろそろハモソも4ビートを繰り出したいと思います。曲はマンハッタントランスファァーからです。



